

令和7年度 第1回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月23日（水） 14時30分から16時30分まで
- 2 場所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、渥美浩明、御園崇、外山昭博、寺田祐真、清水久美子、清水巨久
鈴木あゆみ
- 4 欠席委員 岡本和久、長坂恭輔
- 5 学校 金子直由（校長）、宮津宗之（教頭）、坂田真之介（教務主任）、
西田光男（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 西田光男

8 会長の選出及び指名

司会の宮津教頭から、会長は前年度に引き続き高橋委員が務める旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、高橋会長から御園委員を前年度に引き続き副会長に指名する旨の報告があった。

9 議長の選出について

委員から、議長の選出について、前年度までと同様に高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和7年度三ヶ日中学校運営基本方針の承認
- (2) 学校いじめ防止基本方針について
- (3) 学校評価アンケートの項目の検討
- (4) 学校運営協議会における今年度の目標について
- (5) 夢育やらまいかCS加算分に対する意見書について
- (6) 第2期終了に伴う協議会委員の入替について

11 会議記録

司会の宮津教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度三ヶ日中学校運営基本方針の承認について

議長の指示により、金子校長から、第4次浜松市教育総合計画の理念や別紙資料のグランドデザイン等に基づいての学校運営基本方針の説明があり、出席委員全員からの承認を得た。

(2) 学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、教務主任の坂田から、別紙資料に基づき学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員へ意見を求めたところ、以下の発言があった。

- ・民生委員児童委員連絡協議会があると、そこでの情報交換が、生徒の見守りに大変有益である。様々な問題についての情報が把握できる。また、福祉票を作成することにより、継

→ 続しての見守りも可能になる。 (清水久美子委員)

→ 地域での様子も把握できるので、学校としても大変有意義な協議会である。

・ 発達障害をもつ生徒がいじめられるのではないかという、入学当初の心配をよそに「学校が楽しい」と言っているのを聞いて、学校はよく見てくださっているのだなと、信頼感をもって、とても安心している。 (清水巨久委員)

・ 先日、虐待かと思われるような家庭内のもめ事を目の当たりにしたことがあった。そのような場合、どのように対処すればよいのか。 (清水巨久委員)

・ 虐待の定義には身体的なものや精神的なものがあるので、その定義を伝えられるような機会があるといいと思う。 (清水久美子委員)

→ PTA 総会で、虐待等に関する情報発信は行っている。また、「子ども SOS」のお知らせなどもしているので、それらを活用することも考えられる。

→ 様々な案件に関する相談窓口はどこにあるのかということも伝えていくようにしたい。

・ いじめ対策の組織を作っていくことはさして難しいことではない。最も大切なのは教員の力量を高めることであると思う。子供や保護者が教員を信じることができれば、いじめの相談もしやすくなる。そして、教員のいじめに対応する力量を育てることが必要になってくる。「包摂性」を育てていくことが大切であると思う。 (外山委員)

(3) 学校評価アンケートの項目の検討について

坂田教務主任から別紙資料の学校評価の項目について説明があり、委員に意見を求めたところ、以下のような発言があった。

・ 毎年変わらずに同じ質問項目を続けていて、令和 3 年からの移り変わりも分かるので、このままでよいと思う。 (鈴木委員)

・ 評価結果をみると、ほとんど全ての数字が右肩上がりになっていて、経過がよく分かることがよいと思う。家庭や地域からすると、学校がどのような協力を求めているのかが分かるような発信も必要かなと思う。 (寺田委員)

・ 「計画的に家庭学習を進めている」という質問項目の評価が低い理由を、どう考えられているのか。 (渥美委員)

・ 昨年度の第 4 回の学校運営協議会では、生徒に直接話を聞く機会があったが、その時の生徒は「生徒の考えている学習スケジュールと、先生方の考えている学習スケジュールにずれがある」という意見を述べていた。そのため、評価が低いのかもかもしれない。(御園委員)

→ 生徒個人が抱える学習課題や家庭学習には、おのずと違いがあるので、教師が求める計画性との差が生まれるのかもかもしれない。

・ 「計画的に学習する」という表現には、学習のゴールというか目標が漠然としているところがあるので、そこをはっきりとさせて質問の表現を変えれば、評価も変わるのではないかと。例えば「目標に向かって計画的に家庭学習を進めている」という聞き方でもよい。

(寺田委員)

(4) 学校運営協議会における今年度の目標について

宮津教頭から別紙資料の学校運営協議会の目標について説明があり、委員に意見を求めた

ところ、以下のような発言があった。

- ・「特色ある教育活動」を充実させ、「魅力ある三ヶ日中」にしていくための支援や協力について話し合っていくことでよいと思う。(渥美委員)
 - ・私立中学の部活動の様子を見聞きすると、部活動の地域移行による変化と効果についても三ヶ日中からの情報発信が重要だと思う。(御園委員)
 - ・部活動の地域移行に向けて、体育協会も協力を惜しまないということであったが、今後の地域移行の動向について教えていただきたい。(高橋委員)
- 旧引佐の4つの中学校で話し合いを進めているが、地域の受け皿がなかなか見つからないのが現状。ボランティアに頼るだけでは難しい。また、地域差も大きい。
- 「安心して通わせられる学校」「魅力ある三ヶ日中」などを目標の中に据えて、本年度の取り組みの重点を決めていきたい。また、部活動の地域移行への対応や地域の人材活用にも目標の中でふられていきたい。
- ・SDGsに関わる活動や総合的な学習の時間の活動を、地域の方々にできるだけ知ってもらいたい。学校の活動を伝えて、地域の方々の関わりを増やせていけたらよいと思う。学校と関わる人を増やしていくことが重要。(寺田委員)

(5) 夢育やらまいかCS加算分に対する意見書について

宮津教頭から別紙資料の夢育やらまいか事業と予算についての説明があり、委員に意見を求めたところ、講師の招聘や生徒の資料作成の補助、花のある学習環境や交通安全指導、会場使用料などに予算を行使する方向でよいという承認を得た。

(6) 第2期終了に伴う協議会委員の入替について

宮津教頭から協議会委員の入替についての説明があり、第3回の学校運営協議会を目途に人選を進めていくことで同意を得た。

12 報告事項等

教頭から学校運営協議会の計画、教務主任から年間行事計画についての連絡があった。

司会から、次回会議は、2025年7月9日(水)14時30分より三ヶ日中学校会議室で開催する旨の報告があった。